

※印字内容は昨年度の申告に基づいたものです。初めて申告される方には印字されていません。

償却資産申告書の記入例

受付印		令和6年 1月 11日 魚沼市長		令和6年度 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)				※所有者コード 123		第二十六号様式 提出用
所有者	1 住所 (ふりがな) 住所 又は納税通知書送達先	946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地 (電話 025-792-0000)		3 個人番号又は法人番号	1234567890123	8 短縮耐用年数の承認	有・無			
	2 氏名 (ふりがな) 氏名 法人にあってはその名称及び代表者の氏名	株式会社 魚沼印刷 代表取締役 魚沼太郎 (屋号)		4 事業種目 (資本等の金額)	印刷業 (5 百万円)	9 増加償却の届出	有・無			
				5 事業開始年月	平成 16 年 10 月	10 非課税該当資産	有・無			
				6 この申告に回答する者の係及び氏名	経理課 ○○ (電話 025-792-0000)	11 課税標準の特例	有・無			
				7 税理士等の氏名	□□ □ (電話 025-772-0000)	12 特別償却又は圧縮記帳	有・無			
						13 税務会計上の償却方法	定率法・定額法			
						14 青色申告	有・無			
資産の種類	取得価額				15 市(区)		① -----		借入財産の有無について、該当する方を○で囲んでください。有の場合、貸主の名称等を記入してください。	
	前年前に取得したもの(イ) 前年中に減少したもの(ロ) 前年中に取得したもの(ハ) 計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)				町村内における事業所等資産の所在地		② -----			
1 構築物	1,000,000	1,000,000	1,200,000	1,200,000	③ -----		④ -----			
2 機械及び装置	5,000,000			5,000,000	16 借用資産		貸主の名称等			
3 船舶					(有・無)		(株) 税務リース			
4 航空機					17 事業所用家屋の所有区分		自己所有・借家			
5 車両及び運搬具					18 備考(添付書類等)		※該当する項目に○をつけてください。			
6 工具、器具及び備品	1,500,000	600,000	100,000	1,000,000	1. 資産増減あり 2. 資産増減なし 3. 該当資産なし		4. 廃業・解散・転出等 (年 月 日)			
7 合計	7,500,000	1,600,000	1,300,000	7,200,000						
資産の種類	※評価額(ホ)				※決定価格(ヘ)		※課税標準額(ト)		資産の状況で、該当するものを○で囲んでください。 1. 資産の増減あり 2. 資産の増減なし 3. 該当資産なし 4. 廃業・解散・転出等	
1 構築物										
2 機械及び装置										
3 船舶										
4 航空機										
5 車両及び運搬具										
6 工具、器具及び備品										
7 合計										

印字内容を確認し、変更等がある場合は余白に変更後の内容を記入してください。

個人番号又は法人番号を記入してください。

事業種目を具体的に記入してください。

各項目について、該当する方を○で囲んでください。

種類別明細書により資産の種類毎に取得価格を集計し、記入してください。

記入する必要はありません。ただし電算処理による独自様式で申告書を作成される場合は、評価額等を記入してください。

その他、次のような事項を記入してください。
①住所名称等に変更があった場合の変更年月日及び旧住所名称等
②納税管理人を定めている場合はその者の住所氏名
③その他、申告に必要な事項や添付書類がある場合はその名称

※印字内容は昨年度の申告に基づいたものです。初めて申告される方には印字されていません。

種類別明細書の記入例

《資産の種類》
該当する番号を記入してください。
1. 構築物
2. 機械及び装置
3. 船舶
4. 航空機
5. 車両・運搬具
6. 工具器具・備品

《取得価格》
資産を取得するために支出した金額（付帯費を含む）を記入してください。固定資産税では圧縮記帳制度はありませんので、圧縮前の取得価格を記入してください。

《耐用年数》
減価償却資産の耐用年数に関する省令による耐用年数を記入してください。

《増減事由》
資産に異動があった場合、該当するものを○で囲んでください。
【増加事由】
1. 新品取得
2. 中古取得
3. 移動
4. その他
【減少事由】
1. 売却
2. 滅失
3. 移動
4. その他

ア.資産が減少した場合
該当する資産に線を引いてください。減少の事由を○で囲み、除却年月を摘要欄に記入してください。

イ.資産の項目を訂正する場合
該当資産の訂正する箇所に線を引き、余白に訂正後の内容を記入してください。

ウ.資産が増加した場合
余白または別紙に、記入例にならって記入してください。

記入する必要はありません。

異動区分		資産種類	資産コード	事業所資産番号	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	課税標準の特例	増減事由	減少区分	摘要
増	訂正	減少							率	コード	※2	※3	
	2	3	1	111	看板	1	H16.10	1,000,000	20		1・2・3・4	1・2	R5.1 廃棄
	2	3	2	112	オフセット印刷機	1	H16.10	5,000,000	10		1・2・3・4	1・2	
	2	3	6	113	コピー機	1	H16.10	300,000	5		1・2・3・4	1・2	
	2	3	6	114	エアコン	3	H16.10	600,000	6		1・2・3・4	1・2	R5.4 売却
	2	3						1,200,000			1・2・3・4	1・2	
	2	3	1		看板	1	R5.4	1,200,000	20		1・2・3・4	1・2	
	2	3	6		ノートパソコン	1	R4.5	100,000	4		1・2・3・4	1・2	前年度申告もれ
	2	3									1・2・3・4	1・2	
	2	3									1・2・3・4	1・2	
	1	2	3										
	1	2	3										
	1	2	3										
	1	2	3										
	1	2	3										
	1	2	3										

《摘要》
次のような事項を記入してください。
①訂正の事由や減少の年月
②課税標準の特例や非課税の適用資産は、その適用条項
③その他、価格の決定に必要な事項